

風かほる

校長 石原 健

「伝承と伝統」 ～全校朝会校長講話より～

来週の水曜日、3月11日は東日本大震災が起きて15年目の日になります。皆さんは実際に地震が起きた時の状況は覚えていないと思いますが、映像などで当時の状況を見聞きして被害の甚大さは知っているものと思います。2024年に起きた能登半島地震では、津波に対する避難など東日本大震災の教訓が生かされた点は数多くありましたが、当時の被害の状況を見ると地震災害への準備の難しさを感じます。私たちができることとしては、このような機会を利用して、自分自身そして家族で地震災害について考えたり、緊急時の約束を作ったりと今できることをやっておくことが大切です。



さて、私は以前、福島県にある東日本大震災・原子力災害伝承館という所に行ったことがあります。そこは福島第一原子力発電所で起きた事故について様々な角度から紹介し、事故を忘れさせないために作られた施設です。今日は先ほどの施設の名前にもある「伝承」という言葉についてお話したいと思います。

「伝承」に似た言葉に「伝統」という言葉があります。どちらかというとな「伝統」の方が馴染みのある言葉だと思います。伝承と伝統は似たような言葉ですが少し意味が違います。伝承とは、昔からあるものをそのまま引き継ぎ、守っていくこと。一方、伝統とは、昔から受け継いできたものをその時代に合わせ新たな考え方や技術を取り入れ、新しい価値を生み出し、受け伝えていくことです。

例えば、歌舞伎は日本の伝統芸能の一つであり、江戸時代の頃からあったと言われています。昔からある演目をそのまま「伝承」してきたとしたら、どうでしょうか？とつとくに歌舞伎は廃れていたのではないのでしょうか。しかし、日本の伝統芸能と言われる歌舞伎は、役者や関係者が日々アレンジを加え、新しい価値を加え続けてきたことで、今も支持されていると思うのです。英語を使った歌舞伎を海外でおこなった役者さんもいました。「伝承」し続けているだけでは、こんなアイデアは生まれなかったと思います。



世の中には、私が以前に見学に行ったことがある伝承館のように「昔からあるものをそのまま引き継ぎ、守っていくこと」が大切なことも勿論あります。では、「南陵中の良さや特徴」はどうでしょう。時折、「南陵中伝統の…」という表現をすることがありますが、それはいったいどんなものなのでしょう？少しイメージしてみてください。

3年生の皆さん、過去を受け継ぎ君たちで作り上げたもの、言わば伝統を後輩たちにしっかり伝

え卒業してってください。1、2年の皆さん、3年生を含めこれまでの先輩方が作り上げ残してくれたものを「そのまま受け継ぐ」と考えるのではなく、君たちなりにとらえ解釈し新しい価値を生み出し、作り上げていくことに挑戦してください。

「南陵中の良さや特徴」(言わば**伝統**)を3年生から伝え受け継ぐための日数もあと10日あまりとなり、私がこうやって令和7年度の全校生徒にお話をするのも卒業式を残すのみとなりました。南陵中をさらに発展させるためにも、10日後の卒業式に向け、生徒一人一人が**伝統**と**伝承**を意識した学校生活を送りましょう。

○南陵中学校区 民生委員・児童委員第2回情報交換会

2月17日(火)、本校にて情報交換会が行われました。当日は、南陵中学校区を担当する委員の方々約40名が集まりました。会議では、新しく委員になられた方々の自己紹介をはじめ、現状報告や情報提供が行われました。実際に顔を合わせてお話しすることで、学校と地域の距離が縮まる良い機会となりました。ご参会された委員の皆様、ありがとうございました。

○第2回吾妻子ども会議

2月20日(金)、本校にて2回目の会議を開催しました。各町内会をはじめ、地域の関係団体が、団体ごとに登下校の見守りをはじめ、子どもたちの健全育成のための活動についての紹介、報告がありました。多くの関係者から「あいさつ」についての話があり、改めて「あいさつ」の大切さを共有する場となりました。「地域の子どもを地域の大人全体で育てる」ために、引き続きご協力をお願いいたします。会議にご出席された方々、ありがとうございました。



南陵中生の活躍 (敬称略)

埼玉県学校歯科コンクール 入選 ※学校として受賞しました

所沢市冬季バスケットボール大会ウィンターカップ 3位 女子バスケットボール部

所沢市冬季卓球大会 女子卓球部 団体Aの部3位

団体Bの部2位

全国中学生人権作文コンテスト 埼玉県大会地区予選 優秀賞

埼玉県小・中学校等児童生徒美術展(県展) 特選

所沢市「家庭の日」推進事業 作文コンクール 青少年～明日へのメッセージ～

特選

金賞

銀賞

